



## 平成25年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年4月30日  
上場取引所 東 大

上場会社名 日清食品ホールディングス株式会社  
コード番号 2897 URL <http://www.nissinfoods-holdings.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長・CEO (氏名) 安藤 宏基

問合せ先責任者 (役職名) 取締役・CFO (氏名) 横山 之雄

定時株主総会開催予定日 平成25年6月26日 配当支払開始予定日

有価証券報告書提出予定日 平成25年6月26日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 機関投資家、証券アナリスト

TEL 03-3205-5111  
平成25年6月27日

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年3月期の連結業績(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期	382,793	0.6	23,954	△8.6	30,964	10.2	18,855	1.7
24年3月期	380,674	1.5	26,211	△24.1	28,099	△22.8	18,538	△10.7

(注) 包括利益 25年3月期 34,883百万円 (88.1%) 24年3月期 18,540百万円 (40.1%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり 当期純利益	自己資本当期純利益 率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
25年3月期	171.12	170.57	6.4	7.2	6.3
24年3月期	167.97	167.59	6.7	6.8	6.9

(参考) 持分法投資損益 25年3月期 1,888百万円 24年3月期 1,146百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期	446,132	315,026	68.7	2,782.25
24年3月期	414,717	286,657	67.6	2,545.31

(参考) 自己資本 25年3月期 306,581百万円 24年3月期 280,423百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
25年3月期	32,045	△31,251	△10,070	64,014
24年3月期	32,604	△12,831	△9,442	71,740

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
24年3月期	—	40.00	—	35.00	75.00	8,262	44.7	3.0
25年3月期	—	40.00	—	35.00	75.00	8,264	43.8	2.8
26年3月期(予想)	—	40.00	—	35.00	75.00		43.0	

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	190,000	6.5	8,000	△10.1	10,000	△10.1	6,500	4.8	58.99
通期	410,000	7.1	25,500	6.5	30,000	△3.1	19,200	1.8	174.24

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)：有  
 新規 1社 (社名) 、 除外 1社 (社名)  
 ニッシンユルドウズグダサナイベティジャーレット A.S.

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
 ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無  
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無  
 ④ 修正再表示 : 無  
 (注) 詳細は、【添付資料】P. 15(会計方針の変更等)をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)  
 ② 期末自己株式数  
 ③ 期中平均株式数

25年3月期	117,463,685 株	24年3月期	117,463,685 株
25年3月期	7,271,935 株	24年3月期	7,291,193 株
25年3月期	110,189,329 株	24年3月期	110,367,235 株

(参考) 個別業績の概要

平成25年3月期の個別業績(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期	26,261	3.4	8,432	△12.1	11,028	10.7	10,501	32.2
24年3月期	25,391	22.7	9,597	44.5	9,965	31.8	7,946	7.6

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期	95.31	95.00
24年3月期	72.00	71.83

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
25年3月期	339,683		237,171	69.6			2,144.19	
24年3月期	326,086		227,406	69.5			2,058.11	

(参考) 自己資本 25年3月期 236,271百万円 24年3月期 226,747百万円

※ 監査手続の実施状況に関する表示

この決算短信は、金融商品取引法に基づく監査手続の対象外であり、この決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく財務諸表の監査手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】P. 3(次期の見通し)をご覧ください。

(決算補足説明会資料の入手方法)

期末決算補足説明会資料は、TDnet及び当社ホームページに掲載しております。

○添付資料の目次

1. 経営成績・財政状態に関する分析 .....	2
(1) 経営成績に関する分析 .....	2
(2) 財政状態に関する分析 .....	3
(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当 .....	5
2. 経営方針 .....	5
3. 連結財務諸表 .....	6
(1) 連結貸借対照表 .....	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	8
連結損益計算書 .....	8
連結包括利益計算書 .....	9
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	13
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	15
(継続企業の前提に関する注記) .....	15
(会計方針の変更等) .....	15
(セグメント情報等) .....	16
(1株当たり情報) .....	20
(重要な後発事象) .....	20
4. 個別財務諸表 .....	21
(1) 貸借対照表 .....	21
(2) 損益計算書 .....	23
(3) 株主資本等変動計算書 .....	24

## 1. 経営成績・財政状態に関する分析

### (1) 経営成績に関する分析

当連結会計年度の我が国経済は、欧州債務問題や新興国の成長鈍化など海外経済の減速の影響を受け、総じて厳しい状況が続きました。しかしながら、新政権による経済政策への期待感から円高の修正や株価の上昇が進むなど、年度末にかけて景況感に改善の兆しが見えてまいりました。

当社グループの中核事業である即席めん業界においては、めん質を中心とした技術革新で袋めん市場の活性化が進んでいるものの、震災の影響で需要が一時的に増加した前年に比べると即席めんの総需要はやや減少しました。

このような状況の下、当社グループは「“EARTH FOOD CREATOR”～人々を『食』の楽しみや喜びで満たすことで社会に貢献する～」という企業理念の下、グループの強みである技術イノベーション力とマーケティング力を活かした商品開発を行うとともに、一層のブランド価値向上に努めました。また、成長性の高い新興国を中心にグローバル戦略を推進し、世界を舞台に戦える競争力とスピーディな戦略実行が可能な体制の強化に取り組んでまいりました。

この結果、当連結会計年度の業績は、売上高は前期比0.6%増の3,827億93百万円となりました。利益面においては、営業利益は前期比8.6%減の239億54百万円、経常利益は前期比10.2%増の309億64百万円、当期純利益は前期比1.7%増の188億55百万円となりました。

<連結業績>

(単位：百万円)

区分	前連結会計年度		当連結会計年度		対前期比	
	自 平成23年 4月 1日 至 平成24年 3月 31日	自 平成24年 4月 1日 至 平成25年 3月 31日	自 平成24年 4月 1日 至 平成25年 3月 31日	金額	%	
売上高	380,674	382,793		+2,118	+0.6	
営業利益	26,211	23,954		△2,257	△8.6	
経常利益	28,099	30,964		+2,864	+10.2	
当期純利益	18,538	18,855		+316	+1.7	

報告セグメント別の業績の状況は、次のとおりです。

#### ① 日清食品

袋めん類では、カップめん で培った技術を応用した「日清ラ王」や「日清のどん兵衛」が売上を伸ばしました。カップめん類では、夏場に「ICEカップヌードルライト」で新しい食べ方を提案した「カップヌードルライト」群、カップヌードル史上最大の麺重量で食べ応えを追求した「カップヌードルキング」群、三層太ストレート製法のもっちりした太くまっすぐなうどんが好評の「日清のどん兵衛」群などが好調な販売となりました。売上高全般では、第1四半期は震災による需要増の反動で前年を下回りましたが、第2四半期以降は順調に推移しました。第4四半期には消費者の皆様にご好評いただいております袋めん「日清ラ王」の全国発売を開始し、売上拡大を図りました。

この結果、報告セグメントにおける日清食品の売上高は、前期比0.8%増の2,008億41百万円となり、セグメント利益は、前期比1.5%増の238億10百万円となりました。

#### ② 明星食品

「明星 チャルメラ」をはじめとする袋めん類は、競合他社との激しい販売競争に苦戦し、前年を割り込む結果となりました。カップめん類では、人気アニメとのコラボレート企画商品を発売した「明星 一平ちゃん」や、オープン価格商品の「明星 評判屋」が売上を伸ばしましたが、他商品の落ち込みをカバーするには至らず、売上減となりました。

この結果、報告セグメントにおける明星食品の売上高は、前期比6.4%減の393億35百万円となり、セグメント利益は、前期比37.8%減の17億12百万円となりました。

#### ③ 低温事業

日清食品チルド(糰)の販売状況は、チルドめん市場の需要停滞に逆らえず、厳しい状況となりました。チルドならではのおいしさをアピールした「日清のちゃんぽん」や「日清の太麺焼そば」が堅調に推移しましたが、全体としては売上減となりました。

日清食品冷凍(糰)の販売状況は、「冷凍 日清スパ王プレミアム」「冷凍 もちっと生パスタ」シリーズなどスパゲティ類が好調に推移、また、冷凍おにぎり市場への新提案商品「冷凍 日清カプセルスタイル カップヌードルおにぎり」も売上を伸ばしました。利益面では、原材料高騰や販売費増の影響で前年を下回りました。

この結果、報告セグメントにおける低温事業の売上高は、前期比1.6%減の525億65百万円となり、セグメント利益は、前期比47.7%減の8億18百万円となりました。

④ 米州地域

米州地域は、価格競争の影響を受けにくい企業体質への改善を目指し、新商品群の強化に取り組みました。この結果、将来の主軸商品に育てるべく新フレーバーを導入し販売拡大を図った「BIG CUP NOODLES」が好調に推移しました。また、「Top Ramen」「CUP NOODLES」などのロングセラー商品も堅調な売上となりました。

報告セグメントにおける米州地域の売上高は前期比6.1%増の259億16百万円、セグメント利益は2億36百万円となり、増収増益で黒字転換を果たしました。

⑤ 中国地域

中国地域は、中間所得者層の増加が続く中国での営業販売網拡大とブランド戦略が奏功したことにより、増収増益となりました。「合味道」「開杯楽」などのカップめんが都市部を中心に大幅に売上を伸ばし、また「出前一丁」も好調な販売となりました。

この結果、報告セグメントにおける中国地域の売上高は、前期比11.5%増の208億48百万円となり、セグメント利益は、前期比76.1%増の18億35百万円となりました。

その他の報告セグメントにおける売上高は、前期比1.1%増の432億86百万円となり、セグメント利益は、前期比95.2%減の98百万円となりました。

＜報告セグメントの売上高及びセグメント利益＞

(単位：百万円)

区分	売上高		増減額	セグメント利益又は損失		増減額
	平成24年3月期	平成25年3月期		平成24年3月期	平成25年3月期	
日清食品	199,284	200,841	+1,557	23,468	23,810	+342
明星食品	42,005	39,335	△2,669	2,753	1,712	△1,040
低温事業	53,434	52,565	△869	1,565	818	△746
米州地域	24,431	25,916	+1,484	△340	236	+576
中国地域	18,694	20,848	+2,153	1,042	1,835	+793
その他	42,825	43,286	+461	2,058	98	△1,960
合計	380,674	382,793	+2,118	30,546	28,512	△2,034

(注) セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(次期の見通し)

次期の業績に関しましては、売上高4,100億円(当期比7.1%増)、利益面では営業利益255億円(当期比6.5%増)、経常利益300億円(当期比3.1%減)、当期純利益192億円(当期比1.8%増)を見込んでおります。

なお、海外子会社の業績予想に使用した主要なレートは、87円/米ドル、11円/香港ドル、14円/人民元です。

(2) 財政状態に関する分析

(資産、負債及び純資産の状況)

当連結会計年度末の財政状態は次のとおりです。

(資産の部)

資産は、前連結会計年度末に比べ314億15百万円増加し、4,461億32百万円となりました。これは主に投資有価証券及び関係会社株式が増加したことにより投資その他の資産が283億90百万円増加したことによるものです。

(負債の部)

負債は、前連結会計年度末に比べ30億45百万円増加し、1,311億5百万円となりました。これは主に支払債務等の増加により流動負債が69億43百万円増加したことによるものです。

(純資産の部)

純資産は、前連結会計年度末に比べ283億69百万円増加し、3,150億26百万円となりました。これは主に利益剰余金の増加99億28百万円及びその他有価証券評価差額金の増加79億43百万円によるものです。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の67.6%から68.7%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当連結会計年度のキャッシュ・フローの状況につきましては、営業活動によるキャッシュ・フロー320億45百万円の増加に対して、投資活動によるキャッシュ・フロー312億51百万円、財務活動によるキャッシュ・フロー100億70百万円の減少により、当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下、資金という。）の残高は640億14百万円となり、前連結会計年度末と比べ77億26百万円の減少となりました。それらの要因は次のとおりです。

(単位：百万円)

区分	前連結会計年度	当連結会計年度	増減額
	自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日	自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日	
営業活動によるキャッシュ・フロー	32,604	32,045	△559
投資活動によるキャッシュ・フロー	△12,831	△31,251	△18,419
財務活動によるキャッシュ・フロー	△9,442	△10,070	△628
現金及び現金同等物に係る換算差額	△547	1,550	+2,098
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	9,783	△7,726	△17,509
現金及び現金同等物の期首残高	61,957	71,740	+9,783
現金及び現金同等物の期末残高	71,740	64,014	△7,726

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の増加は320億45百万円となりました。これは主に税金等調整前当期純利益（293億92百万円）、減価償却費（143億44百万円）や法人税等の支払額（116億63百万円）によるものです。また、前連結会計年度と比べて5億59百万円の資金の減少となりました。これは主に、退職給付引当金の増減額が49億17百万円増加したことや、仕入債務が55億57百万円減少したことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の減少は312億51百万円となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出（210億78百万円）、投資有価証券等の取得による支出（188億35百万円）によるものです。また、前連結会計年度と比べて184億19百万円の資金の減少となりました。これは主に、投資有価証券の取得による支出が136億79百万円増加したことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の減少は100億70百万円となりました。これは主に配当金の支払額（82億63百万円）によるものです。また、前連結会計年度と比べて6億28百万円の資金の減少となりました。これは主に、短期借入金の増減額が5億56百万円減少したこと、長期借入れによる収入が12億54百万円減少したこと、及び自己株式取得による支出が14億74百万円減少したことによるものです。

なお、当社のキャッシュ・フロー指標のトレンドは以下のとおりです。

		平成22年 3月期	平成23年 3月期	平成24年 3月期	平成25年 3月期
自己資本比率	%	65.2	66.3	67.6	68.7
時価ベースの自己資本比率	%	85.2	79.2	82.2	108.3
キャッシュ・フロー対有利子負債比率	年	0.3	0.5	0.5	0.5
インタレスト・カバレッジ・レシオ	倍	205.4	136.7	150.0	150.1

(注) 自己資本比率：(純資産－新株予約権－少数株主持分) / 総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額 / 総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債 / キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー / 利払い

※各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

※株式時価総額は、自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

※キャッシュ・フローは、連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。

※有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち、利子を支払っているすべての負債を対象としております。また、利払いについては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、常にグループ収益力の強化に努め、企業価値の向上と、株主の皆様に対する適切な利益還元を最重要経営課題と認識し、連結業績や今後の資金需要を勘案しながら、継続的かつ安定的な利益還元を行っていくことを基本方針としております。

また、内部留保した資金の用途につきましては、更なる企業価値の向上を図るための設備投資、研究開発投資、M&Aなどの資金需要に備えるとともに、余資についてはリスクを勘案しながら効率的に運用してまいります。

当期末の配当につきましては、1株当たり35円とさせていただきます。これにより、2012年11月に実施した中間配当40円と合わせて、年間配当は1株当たり75円となります。

また、次期の配当につきましては、年間1株当たり普通配当を75円（中間普通配当1株当たり40円）とさせていただきます。これにより、次期の配当性向は、43.0%となる見込みです。

## 2. 経営方針

(1) 会社の経営方針については、平成22年3月期決算短信（平成22年5月13日開示）により開示を行った内容から重要な変更がないため開示を省略しております。

当該決算短信は、次のURLからご覧いただくことができます。

(当社ホームページ)

<http://www.nissinfoods-holdings.co.jp/ir/index.html>

(東京証券取引所ホームページ（上場会社情報検索ページ）)

<http://www.tse.or.jp/listing/compsearch/index.html>

(2) 中長期的な会社の経営戦略

当社グループは、2014年3月期からの3カ年を対象とする中期経営計画を発表いたしました。

当該開示資料は、次のURLからご覧いただくことができます。

(当社ホームページ)

<http://www.nissinfoods-holdings.co.jp/ir/index.html>

(東京証券取引所ホームページ（上場会社情報検索ページ）)

<http://www.tse.or.jp/listing/compsearch/index.html>

(3) 会社の対処すべき課題

「食の安全」の追求は、食品メーカーの最重要課題であり、当社の創業以来の開発、製造の一貫した基本方針であります。当社グループでは、品質保証体制の強化を目的として、「食品安全研究所」及び「日清（上海）食品安全研究開発有限公司」を設立しており、今後も品質保証体制の強化を継続してまいります。

「環境問題への取組み」としては、すべての事業活動においてCO2排出量削減に取り組むとともに、製造工程における水使用量の削減、一度使用した水の再利用にも力を入れてまいります。

そして、CSR活動として、2008年の創業50周年を機に、今後50年間に合計100の社会貢献活動「百福士プロジェクト」を推進し、これからも信頼される企業グループ作りに取り組んでまいります。

3. 連結財務諸表  
 (1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当連結会計年度 (平成25年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	67,599	64,351
受取手形及び売掛金	46,490	47,072
有価証券	10,836	6,065
商品及び製品	9,652	10,022
原材料及び貯蔵品	7,854	9,329
繰延税金資産	4,247	4,549
その他	5,395	5,564
貸倒引当金	△261	△280
流動資産合計	151,815	146,674
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	34,595	35,573
機械装置及び運搬具（純額）	37,501	36,827
工具、器具及び備品（純額）	2,556	2,407
土地	47,999	52,429
リース資産（純額）	704	741
建設仮勘定	1,493	4,334
その他（純額）	1,510	1,473
有形固定資産合計	126,360	133,787
無形固定資産		
のれん	2,648	2,619
その他	1,290	2,057
無形固定資産合計	3,939	4,677
投資その他の資産		
投資有価証券	117,635	138,571
出資金	9,564	17,592
長期貸付金	1,464	1,664
繰延税金資産	2,204	1,421
その他	2,071	2,083
貸倒引当金	△338	△340
投資その他の資産合計	132,602	160,992
固定資産合計	262,902	299,457
資産合計	414,717	446,132



(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当連結会計年度 (平成25年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	44,876	43,652
短期借入金	1,780	1,342
未払金	20,136	24,012
リース債務	92	97
未払法人税等	6,813	7,143
その他	17,165	21,561
流動負債合計	90,865	97,809
固定負債		
長期借入金	12,860	7,612
リース債務	241	227
資産除去債務	103	120
繰延税金負債	8,685	12,039
再評価に係る繰延税金負債	2,961	2,919
退職給付引当金	9,450	7,496
その他	2,891	2,878
固定負債合計	37,194	33,296
負債合計	128,060	131,105
純資産の部		
株主資本		
資本金	25,122	25,122
資本剰余金	48,416	48,416
利益剰余金	247,138	257,067
自己株式	△21,855	△21,798
株主資本合計	298,821	308,808
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,385	12,329
土地再評価差額金	△7,275	△6,619
為替換算調整勘定	△15,509	△7,936
その他の包括利益累計額合計	△18,398	△2,227
新株予約権	658	899
少数株主持分	5,575	7,546
純資産合計	286,657	315,026
負債純資産合計	414,717	446,132

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)
売上高	380,674	382,793
売上原価	213,707	211,346
売上総利益	166,967	171,446
販売費及び一般管理費	140,755	147,492
営業利益	26,211	23,954
営業外収益		
受取利息	927	837
受取配当金	1,718	1,835
有価証券売却益	—	59
持分法による投資利益	1,146	1,888
為替差益	—	1,538
その他	868	1,256
営業外収益合計	4,660	7,415
営業外費用		
支払利息	217	213
為替差損	2,236	—
その他	319	192
営業外費用合計	2,773	405
経常利益	28,099	30,964
特別利益		
固定資産売却益	157	348
投資有価証券売却益	—	359
国庫補助金	425	17
厚生年金基金代行返上益	5,452	—
受取保険金	—	152
その他	0	—
特別利益合計	6,035	877
特別損失		
固定資産売却損	463	38
固定資産廃棄損	451	356
固定資産圧縮損	425	—
減損損失	181	1,275
投資有価証券評価損	2	—
出資金評価損	451	—
災害による損失	—	235
製造委託契約解約損	174	310
その他	363	233
特別損失合計	2,514	2,449
税金等調整前当期純利益	31,620	29,392
法人税、住民税及び事業税	9,983	10,221
法人税等調整額	2,904	△26
法人税等合計	12,887	10,194
少数株主損益調整前当期純利益	18,732	19,198
少数株主利益	193	343
当期純利益	18,538	18,855

## (連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)
少数株主損益調整前当期純利益	18,732	19,198
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,002	7,924
土地再評価差額金	374	—
為替換算調整勘定	△1,768	3,903
持分法適用会社に対する持分相当額	△2,799	3,857
その他の包括利益合計	△191	15,685
包括利益	18,540	34,883
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	18,462	34,371
少数株主に係る包括利益	78	512

## (3) 連結株主資本等変動計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)
<b>株主資本</b>		
資本金		
当期首残高	25,122	25,122
当期変動額		
当期変動額合計	—	—
当期末残高	25,122	25,122
資本剰余金		
当期首残高	48,416	48,416
当期変動額		
自己株式の処分	△1	△9
利益剰余金から資本剰余金への振替	1	9
当期変動額合計	—	—
当期末残高	48,416	48,416
利益剰余金		
当期首残高	236,831	247,138
当期変動額		
剰余金の配当	△8,280	△8,263
当期純利益	18,538	18,855
利益剰余金から資本剰余金への振替	△1	△9
土地再評価差額金の取崩	43	△655
その他利益剰余金増加高	6	2
当期変動額合計	10,307	9,928
当期末残高	247,138	257,067
自己株式		
当期首残高	△20,393	△21,855
当期変動額		
自己株式の取得	△1,477	△3
自己株式の処分	15	60
当期変動額合計	△1,461	57
当期末残高	△21,855	△21,798
<b>株主資本合計</b>		
当期首残高	289,976	298,821
当期変動額		
剰余金の配当	△8,280	△8,263
当期純利益	18,538	18,855
自己株式の取得	△1,477	△3
自己株式の処分	14	51
土地再評価差額金の取崩	43	△655
その他利益剰余金増加高	6	2
当期変動額合計	8,845	9,986
当期末残高	298,821	308,808

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金		
当期首残高	380	4,385
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	4,005	7,943
当期変動額合計	4,005	7,943
当期末残高	4,385	12,329
土地再評価差額金		
当期首残高	△7,649	△7,275
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	374	655
当期変動額合計	374	655
当期末残高	△7,275	△6,619
為替換算調整勘定		
当期首残高	△11,053	△15,509
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	△4,455	7,572
当期変動額合計	△4,455	7,572
当期末残高	△15,509	△7,936
その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	△18,322	△18,398
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	△76	16,171
当期変動額合計	△76	16,171
当期末残高	△18,398	△2,227
新株予約権		
当期首残高	428	658
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	230	240
当期変動額合計	230	240
当期末残高	658	899
少数株主持分		
当期首残高	5,512	5,575
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	62	1,971
当期変動額合計	62	1,971
当期末残高	5,575	7,546

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)
純資産合計		
当期首残高	277,595	286,657
当期変動額		
剰余金の配当	△8,280	△8,263
当期純利益	18,538	18,855
自己株式の取得	△1,477	△3
自己株式の処分	14	51
土地再評価差額金の取崩	43	△655
その他利益剰余金増加高	6	2
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	216	18,383
当期変動額合計	9,061	28,369
当期末残高	286,657	315,026

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	31,620	29,392
減価償却費	14,955	14,344
減損損失	181	1,275
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	14	△1
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△6,867	△1,950
受取利息及び受取配当金	△2,645	△2,673
支払利息	217	213
為替差損益 (△は益)	296	△1,431
持分法による投資損益 (△は益)	△1,146	△1,888
有形固定資産処分損益 (△は益)	757	46
固定資産圧縮損	425	—
有価証券売却損益 (△は益)	△0	△419
投資有価証券評価損益 (△は益)	406	84
売上債権の増減額 (△は増加)	281	599
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△3,449	△777
仕入債務の増減額 (△は減少)	3,738	△1,819
未払金の増減額 (△は減少)	606	1,552
その他	1,410	1,460
小計	40,803	38,009
利息及び配当金の受取額	3,276	3,960
利息の支払額	△217	△213
法人税等の支払額	△12,607	△11,663
法人税等の還付額	1,350	1,952
営業活動によるキャッシュ・フロー	32,604	32,045
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△2,572	△2,951
定期預金の払戻による収入	2,029	4,580
有価証券の取得による支出	△0	△500
有価証券の売却及び償還による収入	6,751	2,581
有形固定資産の取得による支出	△19,187	△21,078
有形固定資産の売却による収入	1,537	2,148
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△1,903
投資有価証券等の取得による支出	△5,155	△18,835
投資有価証券等の売却及び償還による収入	3,245	6,660
貸付けによる支出	△52	△246
貸付金の回収による収入	911	61
その他	△340	△1,768
投資活動によるキャッシュ・フロー	△12,831	△31,251

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額 (△は減少)	104	△452
長期借入れによる収入	1,653	399
長期借入金の返済による支出	△1,354	△1,640
自己株式の取得による支出	△1,477	△2
配当金の支払額	△8,280	△8,263
少数株主への配当金の支払額	△22	△17
その他	△65	△92
財務活動によるキャッシュ・フロー	△9,442	△10,070
現金及び現金同等物に係る換算差額	△547	1,550
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	9,783	△7,726
現金及び現金同等物の期首残高	61,957	71,740
現金及び現金同等物の期末残高	71,740	64,014



(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更等)

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当連結会計年度より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、この変更による当連結会計年度の営業利益、経常利益及び税金等調整前当期純利益に与える影響は軽微であります。

(セグメント情報等)

a. セグメント情報

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、その経営成績を定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は持株会社制を採り、国内7事業会社、海外4地域を戦略プラットフォームとして即席めん事業を中心に展開し、「日清食品」「明星食品」「低温事業」「米州地域」「中国地域」を報告セグメントとしております。「日清食品」「明星食品」「米州地域」「中国地域」は主として即席袋めん及びカップめんを製造販売し、「低温事業」はチルド製品及び冷凍製品を製造販売しております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益（又は損失）、資産、その他の項目の金額の算定方法

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

(減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当連結会計年度より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、この変更による当連結会計年度のセグメント利益に与える影響は軽微であります。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益（又は損失）、資産、その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度（自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2 (注) 4	連結 財務諸表 計上額 (注) 3
	日清食品	明星食品	低温事業	米州地域	中国地域	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	199,284	42,005	53,434	24,431	18,694	337,849	42,825	380,674	—	380,674
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	302	1,050	577	—	85	2,016	16,620	18,637	△18,637	—
計	199,586	43,055	54,012	24,431	18,780	339,866	59,445	399,312	△18,637	380,674
セグメント利益 又は損失 (△)	23,468	2,753	1,565	△340	1,042	28,488	2,058	30,546	△4,334	26,211
セグメント資産	129,793	48,455	28,887	12,275	25,786	245,198	88,111	333,310	81,406	414,717
その他の項目										
減価償却費	8,405	1,039	1,208	752	472	11,878	3,076	14,955	—	14,955
持分法適用会 社への投資額	—	—	—	—	—	—	26,399	26,399	—	26,399
有形固定資産 及び無形固定 資産の増加額	8,573	682	1,556	2,210	755	13,779	5,191	18,970	△33	18,936

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、国内の菓子事業、飲料事業、外食事業等並びに欧州地域、アジア地域を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△4,334百万円には、退職給付関係費用△577百万円、のれんの償却額△750百万円、セグメント間取引消去等△55百万円、グループ関連費用△2,951百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. セグメント資産の調整額81,406百万円は、全社資産が含まれております。

全社資産の主なもの親会社での余剰運用資金73,869百万円、のれん2,648百万円及びその他投資等4,888百万円であります。

当連結会計年度（自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日）

（単位：百万円）

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2 (注) 4	連結 財務諸表 計上額 (注) 3
	日清食品	明星食品	低温事業	米州地域	中国地域	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	200,841	39,335	52,565	25,916	20,848	339,506	43,286	382,793	—	382,793
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	190	1,137	552	—	96	1,977	16,525	18,503	△18,503	—
計	201,032	40,473	53,118	25,916	20,944	341,484	59,812	401,296	△18,503	382,793
セグメント利益	23,810	1,712	818	236	1,835	28,413	98	28,512	△4,558	23,954
セグメント資産	134,628	47,987	28,226	13,279	31,361	255,482	107,365	362,847	83,284	446,132
その他の項目										
減価償却費	7,624	1,049	1,249	1,011	553	11,488	2,856	14,344	—	14,344
持分法適用会 社への投資額	—	—	—	—	—	—	33,316	33,316	—	33,316
有形固定資産 及び無形固定 資産の増加額	11,141	1,320	1,283	883	2,819	17,447	4,160	21,608	△26	21,582

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、国内の菓子事業、飲料事業、  
外食事業等並びに欧州地域、アジア地域を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△4,558百万円には、退職給付関係費用△507百万円、のれんの償却額△1,044百  
万円、セグメント間取引消去等39百万円、グループ関連費用△3,046百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. セグメント資産の調整額83,284百万円は、全社資産が含まれております。

全社資産の主なもの親会社での余剰運用資金79,634百万円、のれん2,619百万円及びその他投資等  
1,030百万円であります。

#### 4. 報告セグメントの変更等に関する事項

当連結会計年度より社内の業績管理区分を一部変更し、従来日清食品セグメントにて負担していたグルー  
プ関連費用を調整額に配分しております。

この変更により、従来の方法によった場合に比べ、「日清食品」のセグメント利益が3,046百万円増加し、「調整  
額」のセグメント利益が3,046百万円減少しております。

なお、前連結会計年度については、当年度のセグメント利益の測定方法に基づき遡及して作成した数値となってお  
ります。

b. 関連情報

前連結会計年度（自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

(単位：百万円)

	即席めん及び付随する事業	その他の事業	合計
外部顧客への売上高	332,765	47,909	380,674

(注) 1 事業区分は、製品の種類・性質等を考慮して区分しております。

2 各事業の主な製品

- (1) 即席めん及び付随する事業……即席袋めん、カップめん、チルド食品、冷凍食品  
 (2) その他の事業……菓子、飲料、外食事業

2. 地域ごとの情報

(単位：百万円)

	日本	北米	その他	合計
外部顧客への売上高	329,676	24,494	26,504	380,674
有形固定資産	114,218	7,118	5,023	126,360

(注) 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：百万円)

相手先	金額	主な報告セグメント
三菱商事㈱	131,590	日清食品
伊藤忠商事㈱	90,035	日清食品

当連結会計年度（自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

(単位：百万円)

	即席めん及び付随する事業	その他の事業	合計
外部顧客への売上高	334,653	48,140	382,793

(注) 1 事業区分は、製品の種類・性質等を考慮して区分しております。

2 各事業の主な製品

- (1) 即席めん及び付随する事業……即席袋めん、カップめん、チルド食品、冷凍食品  
 (2) その他の事業……菓子、飲料、外食事業

2. 地域ごとの情報

(単位：百万円)

	日本	北米	その他	合計
外部顧客への売上高	328,580	25,971	28,241	382,793
有形固定資産	116,078	7,575	10,134	133,787

(注) 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：百万円)

相手先	金額	主な報告セグメント
三菱商事㈱	135,324	日清食品
伊藤忠商事㈱	95,466	日清食品

c. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報  
前連結会計年度（自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他	消去又は全社	合計
	日清食品	明星食品	低温事業	米州地域	中国地域			
減損損失	0	—	—	—	—	181	—	181

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、国内の菓子事業、飲料事業、外食事業等並びに欧州地域、アジア地域を含んでおります。

当連結会計年度（自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他	消去又は全社	合計
	日清食品	明星食品	低温事業	米州地域	中国地域			
減損損失	224	61	211	—	33	744	—	1,275

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、国内の菓子事業、飲料事業、外食事業等並びに欧州地域、アジア地域を含んでおります。

d. 報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報  
前連結会計年度（自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他	消去又は全社	合計
	日清食品	明星食品	低温事業	米州地域	中国地域			
当期償却額	—	397	146	45	—	160	—	750
当期末残高	—	1,805	220	226	—	396	—	2,648

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、国内の菓子事業、飲料事業、外食事業等並びに欧州地域、アジア地域を含んでおります。

当連結会計年度（自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他	消去又は全社	合計
	日清食品	明星食品	低温事業	米州地域	中国地域			
当期償却額	—	397	146	333	—	165	—	1,044
当期末残高	—	1,407	73	181	—	957	—	2,619

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、国内の菓子事業、飲料事業、外食事業等並びに欧州地域、アジア地域を含んでおります。

e. 報告セグメントごとの負ののれんの発生益に関する情報  
該当事項はありません。

## (1株当たり情報)

前連結会計年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)		当連結会計年度 (自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)	
1株当たり純資産額	2,545.31円	1株当たり純資産額	2,782.25円
1株当たり当期純利益金額	167.97円	1株当たり当期純利益金額	171.12円
潜在株式調整後1株当たり当期 純利益金額	167.59円	潜在株式調整後1株当たり当期 純利益金額	170.57円

(注) 1株当たり当期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)
1株当たり当期純利益金額		
当期純利益(百万円)	18,538	18,855
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る当期純利益(百万円)	18,538	18,855
期中平均株式数(百株)	1,103,672	1,101,893
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額		
当期純利益調整額(百万円)	—	—
普通株式増加数(百株)	2,518	3,531
(うち新株予約権)	(2,518)	(3,531)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株 当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式 の概要	—	—

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。

なお、上記以外の注記につきましては、決算短信における開示の必要性が大きいと考えられるため、開示を省略しております。

4. 個別財務諸表  
 (1) 貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当事業年度 (平成25年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	42,732	43,024
売掛金	20,248	19,417
有価証券	9,931	5,825
原材料及び貯蔵品	472	665
前払費用	72	92
繰延税金資産	450	417
短期貸付金	705	120
未収入金	1,494	662
未収還付法人税等	1,908	1,623
その他	1,488	1,969
貸倒引当金	△49	△38
流動資産合計	79,455	73,780
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	3,046	2,912
構築物（純額）	320	294
機械及び装置（純額）	165	104
車両運搬具（純額）	0	2
工具、器具及び備品（純額）	955	729
土地	11,350	10,653
リース資産（純額）	26	29
建設仮勘定	161	2,225
有形固定資産合計	16,026	16,951
無形固定資産		
商標権	5	3
ソフトウェア	112	99
その他	51	315
無形固定資産合計	170	419
投資その他の資産		
投資有価証券	82,537	93,442
関係会社株式	133,200	151,101
関係会社出資金	5,322	1,960
関係会社長期貸付金	7,411	1,080
繰延税金資産	1,359	—
その他	741	960
貸倒引当金	△137	△13
投資その他の資産合計	230,434	248,532
固定資産合計	246,631	265,902
資産合計	326,086	339,683

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当事業年度 (平成25年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形	3	29
買掛金	28,643	27,958
リース債務	8	10
未払金	2,774	3,311
未払費用	772	1,018
預り金	61,695	63,232
前受収益	109	105
その他	881	1,265
流動負債合計	94,888	96,931
固定負債		
リース債務	19	20
繰延税金負債	—	1,840
再評価に係る繰延税金負債	1,213	1,171
退職給付引当金	286	292
その他	2,272	2,255
固定負債合計	3,791	5,580
負債合計	98,680	102,512
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	25,122	25,122
資本剰余金		
資本準備金	48,370	48,370
その他資本剰余金	—	—
資本剰余金合計	48,370	48,370
利益剰余金		
利益準備金	6,280	6,280
その他利益剰余金		
土地圧縮積立金	2,398	2,398
設備改善積立金	200	200
海外市場開発積立金	200	200
商品開発積立金	300	300
別途積立金	160,300	160,300
繰越利益剰余金	7,330	8,903
利益剰余金合計	177,009	178,582
自己株式	△21,855	△21,798
株主資本合計	228,647	230,277
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	5,310	12,549
土地再評価差額金	△7,210	△6,554
評価・換算差額等合計	△1,899	5,994
新株予約権	658	899
純資産合計	227,406	237,171
負債純資産合計	326,086	339,683



## (2) 損益計算書

(単位：百万円)

	前事業年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)	当事業年度 (自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)
<b>売上高</b>		
経営サポート料収入	10,462	10,225
関係会社受取配当金収入	9,353	9,509
その他の売上高	5,574	6,526
売上高合計	25,391	26,261
<b>売上原価</b>		
その他の売上原価	4,998	5,913
売上原価合計	4,998	5,913
売上総利益	20,392	20,348
<b>販売費及び一般管理費</b>		
販売費及び一般管理費合計	10,795	11,915
営業利益	9,597	8,432
<b>営業外収益</b>		
受取利息	72	80
有価証券利息	590	398
受取配当金	1,526	1,586
有価証券売却益	—	59
為替差益	—	249
その他	178	266
営業外収益合計	2,367	2,640
<b>営業外費用</b>		
支払利息	41	40
為替差損	1,742	—
その他	214	2
営業外費用合計	1,999	43
経常利益	9,965	11,028
<b>特別利益</b>		
固定資産売却益	—	172
投資有価証券売却益	—	359
厚生年金基金代行返上益	93	—
その他	0	—
特別利益合計	93	532
<b>特別損失</b>		
固定資産廃棄損	30	8
減損損失	73	744
関係会社株式評価損	1,169	—
その他	1	—
特別損失合計	1,275	753
税引前当期純利益	8,784	10,808
法人税、住民税及び事業税	121	615
法人税等調整額	717	△309
法人税等合計	838	306
当期純利益	7,946	10,501

## (3) 株主資本等変動計算書

(単位：百万円)

	前事業年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)	当事業年度 (自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)
<b>株主資本</b>		
<b>資本金</b>		
当期首残高	25,122	25,122
当期変動額		
当期変動額合計	—	—
当期末残高	25,122	25,122
<b>資本剰余金</b>		
<b>資本準備金</b>		
当期首残高	48,370	48,370
当期変動額		
当期変動額合計	—	—
当期末残高	48,370	48,370
<b>その他資本剰余金</b>		
当期首残高	—	—
当期変動額		
自己株式の処分	△1	△9
利益剰余金から資本剰余金への振替	1	9
当期変動額合計	—	—
当期末残高	—	—
<b>利益剰余金</b>		
<b>利益準備金</b>		
当期首残高	6,280	6,280
当期変動額		
当期変動額合計	—	—
当期末残高	6,280	6,280
<b>その他利益剰余金</b>		
<b>土地圧縮積立金</b>		
当期首残高	2,212	2,398
当期変動額		
税率変更に伴う積立金の増加	186	—
当期変動額合計	186	—
当期末残高	2,398	2,398
<b>設備改善積立金</b>		
当期首残高	200	200
当期変動額		
当期変動額合計	—	—
当期末残高	200	200
<b>海外市場開発積立金</b>		
当期首残高	200	200
当期変動額		
当期変動額合計	—	—
当期末残高	200	200

(単位：百万円)

	前事業年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)	当事業年度 (自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)
商品開発積立金		
当期首残高	300	300
当期変動額		
当期変動額合計	—	—
当期末残高	300	300
別途積立金		
当期首残高	160,300	160,300
当期変動額		
当期変動額合計	—	—
当期末残高	160,300	160,300
繰越利益剰余金		
当期首残高	7,808	7,330
当期変動額		
剰余金の配当	△8,280	△8,263
当期純利益	7,946	10,501
利益剰余金から資本剰余金への振替	△1	△9
土地再評価差額金の取崩	43	△655
税率変更に伴う積立金の増加	△186	—
当期変動額合計	△477	1,572
当期末残高	7,330	8,903
自己株式		
当期首残高	△20,393	△21,855
当期変動額		
自己株式の取得	△1,477	△3
自己株式の処分	15	60
当期変動額合計	△1,461	57
当期末残高	△21,855	△21,798
株主資本合計		
当期首残高	230,400	228,647
当期変動額		
剰余金の配当	△8,280	△8,263
当期純利益	7,946	10,501
自己株式の取得	△1,477	△3
自己株式の処分	14	51
土地再評価差額金の取崩	43	△655
当期変動額合計	△1,753	1,630
当期末残高	228,647	230,277

(単位：百万円)

	前事業年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)	当事業年度 (自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)
<b>評価・換算差額等</b>		
その他有価証券評価差額金		
当期首残高	1,686	5,310
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	3,623	7,238
当期変動額合計	3,623	7,238
当期末残高	5,310	12,549
土地再評価差額金		
当期首残高	△7,339	△7,210
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	128	655
当期変動額合計	128	655
当期末残高	△7,210	△6,554
評価・換算差額等合計		
当期首残高	△5,652	△1,899
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	3,752	7,894
当期変動額合計	3,752	7,894
当期末残高	△1,899	5,994
新株予約権		
当期首残高	428	658
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	230	240
当期変動額合計	230	240
当期末残高	658	899
純資産合計		
当期首残高	225,176	227,406
当期変動額		
剰余金の配当	△8,280	△8,263
当期純利益	7,946	10,501
自己株式の取得	△1,477	△3
自己株式の処分	14	51
土地再評価差額金の取崩	43	△655
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	3,983	8,134
当期変動額合計	2,229	9,764
当期末残高	227,406	237,171